

デザートテック産業イニシアティブが事実上の解散へ¹

新エネルギー・国際協力支援ユニット
新エネルギーグループ

「デザートテック産業イニシアティブ」(Desertec Industrial Initiative : Dii) が、構想の実現を見ないまま事実上の解散に追い込まれた。

Dii は、中東・北アフリカ (MENA) 地域の砂漠地帯に太陽熱・太陽光発電や風力発電の施設を建設し、そこで作られた電力を欧州に送電するという壮大な計画のもとで 2009 年に発足した広域企業連合である²。2050 年までに総額 4000 億ユーロ (5070 億ドル) を投資し、欧州の電力需要の最大 15% を賄うことを目指していた。しかし、参加企業間の意見や利害の対立などにより計画は進展せず、これまでに目立った成果は得られていない。

ドイツ紙の報道によれば、10 月 13 日にローマで Dii の将来を決める話し合いが行われ、スイス ABB、スペイン Abengoa Solar、イタリア Enel Green Power、米 First Solar などを含む 17 の株主が、現状の Dii を終結させることに同意した。しかし、残りの株主 3 社³ が、MENA 地域の再エネサービス・コンサル会社として企業を存続させることを決めた。今後は規模を大幅に縮小し、これまでの野心的な事業構想から現実路線に切り替えて企業の継続を図っていくとしている。

Dii は公式声明⁴の中で、組織が発足した 5 年前と状況は大きく異なり、MENA 地域の再エネ導入量が増大したこと、現在約 70 件の再エネ・プロジェクトが進行または計画段階にあることに言及した。Dii の役割が「基礎的な調査や国ごとの戦略立案の手助け」にとどまる一方で、多数のプロジェクトが Dii 抜きで進展していたことになる。

デザートテック計画が失敗に終わった原因としては、参加国・企業間の足並みが揃わなかったことと、過去 2 年間に多数の有力企業 (主にドイツ企業) が脱退したことが挙げられる。最初のモデル事業として 2011 年に採択されたモロッコの再エネ・プロジェクト⁵は、

¹ 本稿は経済産業省委託事業「国際エネルギー使用合理化等対策事業 (海外省エネ等動向調査)」の一環として、日本エネルギー経済研究所がニュースを基にして独自の視点と考察を加えた解説記事です。

² 再生可能エネルギーの専門家や政治家のネットワークから成る非営利団体「デザートテック財団」(Desertec Foundation) が構想をまとめた後、2009 年に同機関と欧州の 12 の企業が合同で Dii をスタートさせた。

³ サウジアラビアの ACWA Power、ドイツの RWE、および中国の国家电网 (State Grid Corporation of China : SGCC)

⁴ <http://www.dii-eumena.com/press/news/single/article/997.html>

⁵ 2011 年 2 月、Dii は最初のモデル事業として、モロッコ政府の再生可能エネルギー開発計画とは別枠で太陽熱 (150MW)、太陽光および風力 (計 100MW) 発電のプロジェクトを計画した。しかし、2012 年 12 月、7 カ国 (ドイツ、フランス、スペイン、イタリア、マルタ、ルクセンブルク、モロッコ) で署名することになっていた政治文書は、スペインが欠席したため合意が延期された。

2012 年 12 月の協議で参加 7 カ国の最終合意を得られなかった。ほぼ同時期に、設立当初からの主要メンバーだったドイツの総合電機大手 **Siemens** と自動車部品大手 **Bosch** が **Dii** から脱退している。**Siemens** の場合は、ドイツ政府の補助金削減や中国との競争激化により、会社が太陽光・太陽熱発電事業そのものからの撤退を決めたことが理由であった。今年 4 月には、ドイツの電力大手 **EON**、建設大手の **Bilfinger**、金融グループの **HSH Nordbank** が相次いで脱退を発表し、組織の存続に決定的な打撃を与えた。

また、組織内部での意見の相違も表面化していた。昨年 7 月には、**Dii** の母胎であり、ドイツ政府が強力に支援していたデザーテック財団が、組織の戦略や運営方法をめぐる両機関の対立により **Dii** から脱退している。こうした不協和音を背景に、過去数ヶ月間、資金調達をめぐる **Dii** 株主とパートナー企業間の話し合いも不調に終わった。

今回の結果により、再エネ開発において **Dii** のような国境をまたぐ大規模企業連合の果たす役割が問われることになりそうだ。

お問い合わせ : report@tky.ieej.or.jp